

アフリカのレジリエンス

現代社会の困難を克服する創造性と
フィールドワーク主義

2019
NOVEMBER
16th (土)
13:00開始

グローバル教育/
学生支援棟3階
G3-A

協働プロジェクト:

「自然災害人的災害に対するレジリエンスの研究—日本とアフリカの民族誌から」2019～2020年度南アフリカ(NRF)・日本(JSPS)二国間交流事業(代表:梅屋潔、マーロン・バージェス・スワイ)

「アフリカン・シティズンシップの解明:ウガンダ社会の動態とシティズンシップの関連性」2016～2020年度科研基盤(B)(代表:波佐間逸博)

特別講演

人類の未来とアフリカの潜在力—集合的創造性の可能性 松田素二(京都大学)

ウガンダ・西ナイル地域・アルル人における死と儀礼—リチュアル・シティズンシップの可能性
田原範子(四天王寺大学)

[代読発表]アパルトヘイトとゼノフォビアのレジリエンス—南アフリカのウーバー・ビジネスに見るエスニシティとシティズンシップ 梅屋潔(神戸大学/ケープタウン大学)

ひとと動物のあいだのシティズンシップ—東アフリカ・ナイル系カリモジョンクラスターの共振する他性 波佐間逸博(長崎大学)

「レジリエンス」をめぐる批判論の検討 榎本珠良(明治大学)

臣民か、市民か—東アフリカの社会開発をめぐるレジリエンスとレジスタンス
森口岳(東京農業大学)